

不定詞 その1: 副詞的用法

to + 動詞の原形

この形のことを、「不定詞(ふていし)」と呼びます。

(^▽^)<「トゥープラスどうしのげんけい。」

と、英語の先生が言っているのを聞いたことがありますか？ それが「不定詞」です。

※「to 不定詞(トゥーふていし)」と呼ぶこともあります。

どちらも同じ「to + 動詞の原形」という形のことを指すよ。

そして、この「不定詞」には、

その1 : 副詞的用法(ふくしてきようほう)

その2 : 名詞的用法(めいしてきようほう)

その3 : 形容詞的用法(けいようしてきようほう) … と、同じ形で3つの意味・使い方があります。

※副詞用法、名詞用法、形容詞用法、と「的」を入れない呼び方もあるよ。

その1 : 副詞的用法

その中のさらにその① : 「~するために」

I went to the library **to study** math. 私は数学を勉強するために図書館へ行った。

He came to my house **to play** video games. 彼はテレビゲームをするために私の家に来た。

My sister studies science hard **to be** a doctor.

私の姉(妹)は医者になるために理科を熱心に勉強しています。

Why did you go to the shop? – **To buy** a T-shirt.

あなたはなぜそのお店に行ったのですか？ – Tシャツを**買う**ためです。

★ その1のその① の特徴 ★

・英文全体の和訳をした時に、「~するために」という意味になりそうだな、というのがつかみやすい。
いろいろある用法の中でもわりとつかみやすい用法だと思います(^o^)

・例えば、I went to the library / to study math. と

不定詞(この場合は to study)の前で文を区切った時、そこより前の部分(I went to the library)が「1つの文」として成立している、という特徴もあります。

I went to the library. 私は図書館に行った。 ← これだけで1つの文として成り立っているね。

※ただし、この特徴は、のちほど出てくる「その3」の英文にも当てはまる部分があるので注意！

その② : 「~して(うれしい、悲しい、驚いた、など)」

I'm very happy **to hear** that news. 私はそのニュースを聞いてとてもうれしい。

They were sad **to see** the result. 彼らはその結果を見て悲しかった。 ※result(リザルト) = 結果

I was so surprised **to know** about their marriage. ※marriage(マリッジ) = 結婚

私は彼らの結婚について**知**ってとても驚いた。

★ その1のその② の特徴 ★

うれしい(happy, glad)、悲しい(sad)、驚いた(surprised)、興奮した(excited)など、

「感情を表す形容詞」の後ろに来る不定詞(to + 動詞の原形)は、このグループだと言えそうだね(^o^)